

《活動方針》	具体的な取り組み	担当委員会
<b>1. 「楽しいスカウティング」に向けた活動を展開します。</b>		
<p>スカウティングの本質を見極めた活動を「楽しいスカウティング」と位置づけ、進歩促進、指導者養成、団運営の側面から物事を捉え、ポストコロナ時代における県下各団の活動を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スカウトの進歩の促進を目指し、次の2テーマを重点事業とします。 ①「活動と進歩に関する研究会」ではCS/BS/VS進歩課題目習得について、「プロジェクト発表会」では隼・富士章への挑戦意欲向上させるべく、スカウトおよび隊指導者それぞれの目線から研究し、指導法やプロジェクト展開のヒントなどを提供します。 ②「技能章考査員講習会」を通じて、技能章考査員の資格レベルを再定義し、スカウトが興味を持って楽しく技能章取得を挑戦する環境を作ります。</li> <li>・第25回世界スカウトジャンボリーへ参加するスカウト・指導者に対して、事前/事後それぞれの場面での支援を行います。また、県下のスカウトに対して、26WSJや各種海外派遣への参加を促し、挑戦意欲を高揚させる取り組みとして、海外派遣の現地トピックスや参加者の体験談を一元化して情報発信します。</li> <li>・班制高揚技能を県下各団/地区で楽しく実施展開してもらうことに取り組みます。</li> <li>・「セーフ・フロム・ハーム」通報相談の課題洗い出しを行い、運用改善を図ります。また、直近5年間の事故やケガ発生状況を分析し、安全講習会やSfH基本/実践編でのフィードバックを行うとともに、安全担当者の役割について再定義を行います。</li> <li>・スカウト教育法を構成する8つの要素の観点から正しいスカウティングを習得するとともに、指導者にとって「楽しさ」を実感する研修会の運営方法を検討します。</li> <li>・ローバースカウト年代の活動活性化を目指し、次の3テーマを重点事業とします。 ①「RSのネットワーク化の継続」を行うとともに活動組織体制等を検討し、プロジェクト法による楽しい活動についてアクションの具体化・可視化を行います。 ②ユース年代スカウトにおける「ユース年代におけるスカウティングとは何か」を年間テーマとしてディスカッションし、活動の場の創生、県連に求める支援内容を具体化する。また中長期的なアクションについては県連VISION制定時に組み入れを行います。 ③新たに制定されるRSスカウト向けアワードについて、進歩促進委員会等と協業して県下RSスカウト全員に対してカリキュラムの周知・理解促進のための情報提供を行います。</li> <li>・「スカウティングの本質を体得する」をテーマにした定型外訓練として「野外活動訓練」を開催します。開催にあたっては、従来の展開方法に捉われない時代ニーズにあった内容を検討します。</li> <li>・スカウティングの本質は何か、楽しいスカウティングとは何かを主眼にしたテーマ設定にて「団運営者の集い」を実施します。</li> </ul>	<p>進歩促進委員会</p> <p>スカウト活動支援委員会</p> <p>SfH・安全委員会</p> <p>指導者養成委員会</p> <p>ユースネットワーク委員会</p> <p>トレーニングチーム</p> <p>組織戦略委員会</p>
<b>2. 青少年育成を通じて社会貢献する運動の推進と認知度を高め、加盟員の拡大につなげます。</b>		
<p>2022年度の神奈川連盟法人化により、今後はより一層に社会と連携を図り、社会貢献に繋がる活動を展開しなければなりません。外向きへの情報発信に注力するとともに、外部団体主催事業への奉仕などを通じて、ボーイスカウト運動の認知度を高める取り組みを展開します。</p> <p>また、神奈川連盟は登録人数の反転する大事なタイミングであります。ついては、「ワクワク自然体験あそび」などの組織拡充事業を継続展開し、新規加盟員の増大化気運を県下各団に定着させる取り組みを展開します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「プラゴミバスター大作戦」など日連事業について、情報提供時に進歩課題との紐づけを行うなど、指導者・スカウト・保護者・外部一般の方にも社会課題と運動の関連を理解してもらう取り組みを展開します。</li> <li>・本運動について外部への積極的な情報発信として、「やまゆり」の発行、ならびにホームページへの記事掲載を行います。</li> <li>・「ワクワク自然体験あそび」を2023年度も継続実施します。あわせて、本事業が新規加盟者の増加に寄与することなどの情報を発信します。</li> <li>・神奈川連盟版「スカシヤカ」である「就職研修」を再検討し継続します。</li> <li>・「セーフ・フロム・ハーム」通報相談窓口業務に外部の有識者、専門家配置を検討し、今以上に迅速・的確な対応を目指します。「ぼうさいこくたい」「全国防災キャラバン」などへの奉仕を通じて、一般の方へボーイスカウトの認知度を上げます。</li> <li>・県連ホームページに以下のテーマでの情報発信を行います。 ①県下加盟員向けの情報伝達のページ ②県下一般の方がボーイスカウトを知る。近隣の活動団を見つけられるページ ③外部に向けて青少年育成団体としての活動をアピールするページ</li> </ul>	<p>スカウト活動支援委員会</p> <p>組織戦略委員会</p> <p>ユースネットワーク委員会</p> <p>SfH・安全委員会</p> <p>総務委員会</p>

≪活動方針≫	具体的な取り組み	担当委員会
<b>3. 中長期的な視点でこれからの神奈川連盟の活動方向性を示すVISION策定を行います。</b>		
<p>ボーイスカウト運動を取り巻く青少年の成長や社会課題は我々の想定を超えるスピードで変化・複雑化している。しかし五感を大事にした泥臭い活動を変える必要はないとも考えます。</p>	<p>VISION制定にあたっては、スカウト一人ひとりの幸福を目指す運動を展開し、そのことが指導者の幸福にもつながることを念頭にして、①スカウト活動の充実、②組織拡充、③指導者養成、④県連運営の4テーマについて、執行理事を中心としたメンバーにて現状分析・将来予測・FitGapによる分析および施策検討を行い、日本連盟中長期計画の十分な理解に努めながら、「神奈川連盟活動VISION」として取りまとめます。</p> <p>(検討テーマ例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境問題(フードロス、マイクロプラ、生物多様性、etc.)や持続可能な開発目標(SDGs)への神奈川連盟としての取り組み</li> <li>・神奈川連盟主催の海外派遣事業再開を想定した課題洗い出し</li> <li>・時代ニーズに合わせるべく参加しやすいWB研修所開設検討や定形外訓練の開発</li> <li>・ユース年代における県連運営等(意思決定プロセスへの)参画の意義、参画方法を神奈川ユース自身による検討</li> <li>・青少年の保護としてのセーフ・フロム・ハーム</li> <li>・一般会計の収支均衡を維持させるべく、収入/支出のあるべき論と改善施策検討</li> <li>・県連総会運営についての標準化</li> <li>・ICTを活用した県連運営の検討</li> </ul> <p>これら中長期的な視点に立って、県連盟としてのあるべき組織構造や効率的な運営への改革案、中期事業計画案の取りまとめを成果とします。</p>	<p>全委員会 トレーニング チーム</p>